

2018年度
認定特定非営利活動法人
まちづくりネット東近江事業報告書

2018年4月1日～2019年3月31日

2018年度 認定特定非営利活動法人まちづくりネット東近江事業報告

法人設立から5周年を迎え、昨年の総会と同じ日に5周の記念事業を行った。会員と共に、これまで当法人に関わっていただいた方も大勢参加された。お互いの交流を通して今後のまちづくりを一緒に作っていくという趣旨で開催したことで、5年が経過し今後を展望するスタートの機会になった。

当法人の事務所も市民に認知され、相談から新たな事業へと発展してきたものがある。これまでのつながりの中で、事業を展開する市民が増え、ニーズに合わせた事業を模索し、自主財源にもつなげていきたい。

昨年3月の認定NPO法人取得は、寄付の呼びかけがしやすくなった。会員拡大は引き続き目指し、団体会員を増やすべくさまざまな機会に呼びかけている。ホームページの改編では、当法人の活動内容を整理し、対外へ伝える媒体として構築を行った。また、新たな活動に、ホームページを活用していくように検討を進めていきたい。

＜つながる＞

- ・わくわくこらぼ村では、内容を掲載したチラシの配布や、実行委員会の企画等が功を奏し、1500名の参加者となった。わくわくこらぼ村実施当日は、来場者の対応に追われ、交流することが難しかった。来年度は、説明会か反省会の場で交流する機会の検討を行いう
- ・協働ラウンドテーブル運営委員会は、まちのわ会議の企画、実施やファシリテーターや板書のスキルを向上させる講座の開催等を行う。自主財源を確保しながら、運営も行い、地域の会議でのファシリテーターの依頼があり、まちのわ会議だけでなく地域での話し合いの場をつくる組織を目指し、活動している。
- ・わがまち協働大賞の表彰式で、協賛して頂いた事業所の紹介を行った。市内の事業所から多数の協賛をいただいていることが、受賞団体だけでなく、市民にも伝わる機会になった。
- ・今年度、東近江市未来を育む取組体系図検討ワークショップや、sea to summit、ちいさなたびいち事業などの運営協力、各課からのチラシ作成依頼など東近江市行政との連携も大きく広がった。これまで関わりのあった方が違う課へ異動になったことで発展したこともあり、今後も関係性は大事にしていきたい。

＜ひろがる＞

- ・この施設への訪問者は1264名(昨年1202名)となり昨年より増えた。市民に認知され、気軽に来れる雰囲気になってもらうように心がけている。また、自治会への施設貸し出しも行い、つながりをつくっている。
- ・ホームページのリニューアルでは、新たに市内の団体の検索機能やホームページからの相談や寄付、視察受入などを受け付ける仕組みを作った。このことから、各団体へのホームページの作成の支援につながることとなった。
- ・動画講座を自前で始めて開催した。フェイスブック講座に始まり、徐々に自前講座開催を増やしてきたので着実に展開できるようになっている。動画が一般的になったこともあり、まちのわの投稿番組は途切れなく継続できた。
- ・広報誌にじまちは、平田地区を実際に歩いて、地域の名所、できごとなどを地域の方に教えてもらい、作成した。それぞれの地区にも地域の宝があると思うので、今後の特集

の企画として良いきっかけになった。

- ・パブリックアクセス推進協議会では市民メディア全国交流集会に参加して、パブリックアクセスの考え方とメディアリテラシーについて学んだ。このことにより、次年度の市民向け講座の開催に結びつけることが出来た。

＜支えあう＞

- ・にじまちサポートーズの応募を広げるため、市役所の補助金等の説明会と共に催行った。東近江市で活用できる助成金や補助金の説明をし、その後個別の相談会を行う。多くの参加者があり話を聞いてもらう機会となった。
- ・にじまちサポートーズは2団体の応募だった。採択された団体のひとつはおおよそ目標額に達したが、もうひとつは採択団体自身が動けなかったこともあり、寄付集めも難しかった状況がある。当法人も、二五八祭りでのフリーマーケットや募金箱の設置など、例年通り寄付集めを行ったが、認定NPO法人になった特典が伝え切れなかった。
- ・コミュニティビジネススタートアップ事業は、東近江版SIBの手法を取り入れて、3年目を迎えるに満ちて、着実に浸透してきた。その中で当法人は団体の相談事業を行っているが、この時のアドバイスは、団体自身が事業を継続していくときに大切な場となっている。コミュニティビジネススタートアップ事業が終わった後も団体の事業が継続していることはこの事業の成果と考える。

＜市民活動支援＞

- ・相談も昨年より大きく116件(昨年100件)となった。女性が地域で何かしたいや、できないかという相談が多い。コミュニティビジネスなどを通して地域の課題を解決する仕組みを学んでもらいたいと支援を行い、つないでいく。
- ・はじめてWebマーケティングセミナーを開催した。場所を能登川にしたこともあり、市外からの参加もあった。チラシだけではない情報発信のあり方が変化していると考えられる。東近江市の団体でもWebの発信のニーズが高まり、ホームページ作成やフェイスブックページ、データベース作成などの依頼が増えた。

＜事業実施体制＞

- ・全まちづくり協議会を対象に個別にお話を聞かせていただく機会をもった。これまで何らかのお付き合いはあったが、各まちづくり協議会の事情までは把握してなかったので、今後の地縁組織の支援を考えるときの参考となった。このヒアリング結果を地域担当職員の研修会と、まちづくり協議会の事務局長会議で結果を報告した。ヒアリングでの要望は、会議の運営をファシリテーターのように支援してほしいという要望などがあった。今後、出前ミニ講座なども企画しながら共催事業への道を探りたい。
- ・5周年事業として、会員やこれまで連携があった方々を招いて記念事業を行った。総会後、来賓を招いた式典とこれからの東近江のまちづくりを一緒に考えるワークショップを行った。多数参加していただき、お互いをつなぐ良い機会となった。この日に作成した動画と5年間をまとめた冊子は、1年間様々な機会に紹介し、当法人を知っていただく機会となった。
- ・二五八祭りでのフリーマーケットで会員の方々へ品物のお願いをしたところ、何人から届けていただいた。初めて会員へのお願いだったが、このような機会を捉えて会員への参加を求めたことは良かった。

- ・東近江市観光協会と協働で東近江の体験型観光を発信するために、観光ワークショップや写真講座、相談を通じて、「たびいち」を行った。市民活動団体も事業収入のひとつとして体験活動を取組んで頂けると良いと考えるので今後も支援していくことで、自立への道を共に探っていきたい。
- ・情報発信の学びを深めデータベースの構築が進んだ。そのことにより、データベースを指導するきっかけが増え、当法人の支援メニューとなりえた。今後はデータベースの必要性を各団体へ呼びかけながら、支援メニューとして確立したい。
- ・当法人への視察が何件かあった。自主事業で視察の事業を検討していることもあり、こちらも研修として対応した。先方から視察費を申し出される場合もあったが、そうでない場合の視察料の考え方を整理する時期に来ていると考える。
- ・スタッフの体制が変わったことでいろいろな支障が起きた。そのことで今年度はつれづれ日記の発行ができなかった。今後はWEB上の発信に切り替える等検討する。

目 次

＜つながる＞

1. わくわくこらぼ村	6
2. わがまち協働大賞	8
3. 協働ラウンドテーブルの開催	12

＜ひろがる＞

1. WEB媒体を使った情報発信	14
2. 広報誌「にじまち」の発行	14
3. 東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援	16
4. その他の情報発信	18

＜支え合う＞

1. にじまちサポートーズの実施	19
2. 東近江市わくわく市民活動支援補助金事業の運営協力	22
3. 東近江三方よし基金との連携	22
4. コミュニティビジネス支援	22

＜市民活動支援＞

1. 講座の開催	24
2. 相談	27
3. 広葉樹の利用と森林再生についてのワークショップ	29
4. 東近江市未来を育む取組体系図検討ワークショップ	29

＜地域循環共生圏構築検討事業＞

1. 環境省より地域循環共生圏構築に向けて	30
-----------------------	----

＜地域資源の発掘調査＞

1. 地域資源発掘ワークショップ	32
2. 観光コンテンツの造成	33
3. WEBによる広告	34

＜事業実施体制＞

1. スタッフ研修	35
2. 県内中間支援団体とのネットワーク	36
3. 運営体制	37

つながる

1. わくわくこらぼ村

目的 :1 市民活動を広く市民に知ってもらうこと

2 市民活動団体の交流の場となること。

開催日時 : 2018年12月1日 (土) 10:00~16:00

開催場所 : ショッピングプラザアピア4階 (研修室AB、アピアホール、情報プラザ)

参加者数 : 1500名

参加団体 : 52団体

配布チラシ : 25000部(ポスター70部) 東近江市の園、小学校、中学校

東近江市の各施設、団体120ヵ所、個人114ヵ所

集客数に効果があったので、来年度も同数を予定する。

(1) 実行委員会の開催について

実行委員会の開催 7回

実行委員会委員 13名

(2) 参加団体説明会・交流会

開催日時 : 2018年11月6日 (火) 19:00~21:00

開催場所 : 東近江市役所313.314会議室

参加者数 : 42団体 54名

内容 : 開催概要/注意点//展示・物販・体験・ステージ概要/講話「次世代へつなぐ」

中島みちる氏/ワークショップ交流会「4年後のまちの未来を考えよう！」

(3) 当日スケジュール

時間	内容
10:00	開村式
10:07	木猫隊による演奏
10:30	展示、体験、販売、ステージの開始
14:30	閉村式・ふらっとまざろうビンゴ・記念撮影
15:30	片付け

(4) 展示・体験・販売

参加された団体(52団体)が、それぞれの活動を紹介できるブースを設置する。そのブースの中で、体験や物品の販売を行うことができるようにした。

今年度は子ども連れの来場者が特に多かった

(5) ステージ

活動を紹介するステージに8団体が参加。こらぼ村のステージで各20分程度の紹介を行った。今回はステージのみの参加も可能とした。



ホール会場の様子



記念撮影

(6) 会場企画

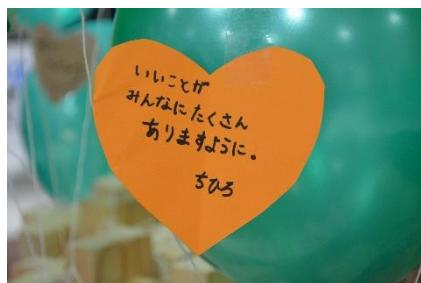
①クイズラリー・ぶらっとまざろうbingo

3つの会場で参加団体と参加者をつなぐ企画「ひがしおうみをめぐる！クイズラリー」と「ぶらっとまざろうbingo」を開催した。bingoの景品には、東近江市の特産品や関連する商品を用意した。(参加シートはA5サイズ表と裏に各企画のシートを印刷)

企画参加人数 500人 (初期300枚+追加200枚)

②KUMINO (クミノ) 願いの木

永源寺の杉で作られた積み木で願いの木を作成、色画用紙に願いを書いてもらい風船につけてもらう。900ピースのKUMINO (クミノ) 願いの木は、大木のようで、風船と調和し可愛いスポットとなった。当初インスタグラムスポットとして計画していたが風船をもらいたい子供達の長い列が出来ていた。



(7) 出店内容内訳 (今年度より展示必須を廃止)

- ・展示のみ 19団体 (昨年度 28団体)
- ・物販 (+展示) 14団体 (昨年度 12団体)
- ・体験 (+展示) 6団体 (昨年度 4団体)
- ・ステージ (+展示) 5団体 (昨年度 4団体)
- ・物販+体験 (+展示) 5団体 (昨年度 3団体)
- ・物販+ステージ (+展示) 3団体 (昨年度 1団体)

(8) ステージ

活動を紹介するステージに8団体が参加。こらぼ村のステージで各20分程度の紹介を行った。

(9) わくわくこらぼ村サテライト

わくわくこらぼ村のこれまでの開催概要や参加者数、その年度独自の企画の様子の写真と、今年度の写真を展示した。今年度は、八日市、能登川、蒲生図書館の3館にて展示、PRをした。

開催日時：2019年2月22日（金）～2019年3月12日（水）

開催場所：八日市図書館、能登川図書館、蒲生図書館

（10）実行委員会反省会

開催日時：2019年1月9日（水）18：30～19：30

開催場所：En

＜各委員の意見＞

■準備に関わること（当日まで）

- ・会場飾り物を事前にボランティアで手伝いに来てもらった方がいたことが良かった。
- ・今回、はじめてステージの飾りつけをしたところ、華やかになり良かった。
- ・実行委員会の部会ごとの打合せが、もう少し必要だと感じた。（会場班）。

■当日に関わること

- ・参加団体の交流機会を工夫する（わくわくこらぼ村当日のあと、後日、交流会を実施する）。
- ・各会場の電気容量の確認、電源使用量の確認（使用機材：参加団体、会場全体）。
- ・参加団体配付資料へ情報を記載する（アピアホールのステージのサイズ）。
- ・ステージ前の飲食スペースが、昨年度よりも広くなって、人が集まりやすかった。
- ・子どもの参加が多かった（チラシ配布先：幼稚園・保育園を含む、3週間前に配布）
- ・ポスターは、3週間前よりも早く掲示しても良い。
- ・わくわくこらぼ村当日の内容に関する問合せの電話が多かった（10件くらい）。
- ・閉村式と片付けのタイミングを調整すること、来場者への配慮（展示等を見る時間帯を明示の有無）。
- ・KUMINO ねがいの木は、インスタ映えスポットにはならなかったが、人はたくさん集まった。
- ・クイズ、bingoの企画は、来場者との交流に効果的だった。特に、まちづくり協議会で良かったという声があり、次年度以降もこのような仕組みを活用すると良い。

2. わがまち協働大賞

市民同士または市民と行政の協働を促進するとともに、協働の事例を表彰することにより協働への意識を高める。また協働の事例の収集を目的に実施した。

募集期間：2018年7月2日（月）～2018年8月3日（金）

応募事例数：18事例

（1）チラシ・ポスターの制作

チラシをA3判にし、1,000部作成。各地区コミュニティセンターや、支所、図書館などに設置。また、当団体主催の講座やイベント、市主催のイベント時に配布した。

(2) 選考

選考	選考日（選考期間）	選考者	選考方法
第1次選考	2018年9月12日	市協働推進委員	書類選考
市民投票	2018年10月12日 ～10月31日	市民	ビデオやパネル展示を見て投票
最終選考	2018年11月7日	市協働推進委員	市民投票の結果 ヒアリングの結果

①第1次選考

応募18事例を書類審査で10事例にしほる。

②ヒアリング

市協働推進委員が、最終選考に残った10事例のヒアリングを行う。

③市民投票

最終選考に残った10事業を対象に、以下の場所にて市民投票を行った。

市民投票場所

場所	市民投票方法
各地区図書館	・10事業の概要説明ポスター展示
東近江市役所	〃
WEB（インターネット投票）	・10事業の概要説明動画



④中学生による選考

わがまち協働大賞の最終選考に残った10事例について、市内3つの中学校に出向き、中学生によるわがまち協働大賞選考会を行った。生徒が選んだ事例にはオリジナルの賞の名前を考えてもらい、わがまち協働大賞の表彰式で表彰した。

中学生による賞の結果

学校名	事業名	賞名
2018年10月22日 東近江市立朝桜中学校	女子野球で、少女達に夢を！ 地域に元気を！	日本一になるで賞
2018年10月26日 東近江市立船岡中学校	女子野球で、少女達に夢を！ 地域に元気を！	スマイルホームラン賞
2018年10月30日 東近江市立永源寺中学校	蒲生の魅力をまるっと発掘、 発信、活用事業	蒲生がもうっとはっしん（発 信＆発進）できるで賞



選考方法

- 賞の選考に当たっては以下の流れで進めた。
- ①協働大賞の概要説明
 - ②選考に当たっての注意点などの説明
 - ③最終選考事例のPR動画の上映
 - ④ポスター展示を見ながら個別に振り返り
 - ⑤グループに分かれて意見を出し合う
 - ⑥全体での話し合い(団体選考、賞のネーミング)

⑤最終選考

全市協働推進委員が参加したヒアリングをまとめたヒアリングシートを採点(60点満点)した結果と市民投票の結果と、事前に提出されていたヒアリングシートより、特徴のある事例を選んだ。結果は、次章にて報告する。

賞名	事業名	団体名
大賞 市民応援賞	女子野球で少女達に夢を！地域に元気を！	東近江バイオレツツ
優秀賞	蒲生の魅力をまるっと発掘、発信、活用事業	一般社団法人がもう夢工房
優秀賞	猪子山森林再生プロジェクト	一般社団法人能登川地区まちづくり協議会
優秀賞	コミュニティカフェと地域の人の経験を活かす場づくり	地球ハートヴィレッジ
エピソード賞 (特別賞)	医療・福祉の専門職が地域にお邪魔し出前講座を行います！	てんびん俱楽部
エピソード賞 (特別賞)	子どもの学習支援事業	社会福祉法人東近江市社会福祉協議会
入賞	持続可能な防災力向上プロジェクト	湖東地区防災ネットワーク
入賞	てんびんの里ふれあい通学合宿	五個荘コミュニティセンター
入賞	夢はハリウッド！映画のまちづくり	あいのみ企画室
入賞	能楽を楽しむ「能装束着付け実演と能」	一般社団法人能登川地区まちづくり協議会
協働コーディネーター賞	・小島 秋彦さん(湖東地区防災ネットワーク) ・奥村 清和さん(あいのみ企画室)	

(3) 表彰式

日時：2018年12月1日(土) 13:00～13:30(わくわくこらぼ村内)

場所：ショッピングプラザアピア アピアホールステージ

プログラム

わがまち協働大賞の紹介

協賛の紹介
各賞の発表
協働推進委員より総括

(4) 副賞

副賞は、受賞された事例をまち全体で応援することを趣旨として、東近江市内の事業所に協力を依頼し、店舗や事業所で使うことができるクーポン券の発行をした。クーポンを利用することで、店舗に訪れるきっかけや、新しい協働の事例を増やすことも目的である。

募集方法

以下のチラシ（1000部）を各店舗の協力を得て、配布し、協賛を募集した。



協賛募集チラシ

店舗名	協賛内容
(株) PLUS SOCIAL INVESTMENT	文房具 10万円分
深尾 昌峰	運営コンサル 1回
総研関西（株）	文房具 5万円分
パンカフェ KOKON～江近～	飲食 10%OFF 券 10枚
魚や楓江庵 エフライズ株式会社	金券 1000円券 10枚
87farm	花 no 茶 5個
ファームキッチン野菜花	ランチ無料券 3枚
こもれ日小田苅家	味噌汁、かまどご飯招待券 2枚
(株)みんなの奥永源寺	大賞 コスメセット5種類、 優秀賞 コスメセット3種類 入賞 ハンドクリームセット 6組
NPO法人 まちづくりネット東近江	チラシ作成 2枚
ボナール吉屋	ランチ券（¥650） 10枚
(一社) k i k i t o	k i k i t oのお好きな商品5000円分×2枚
東近江市 市民環境部交通政策課	ちょこっとバス一般回数券（15枚綴り） 5冊
M i t t e (NPO法人 東近江フィールドステーション	コーヒーチケット（11枚綴り） 12セット
(一社) 中野ヴィレッジハウス	中野ヴィレッジハウス内で使用できる割引券（100円×5枚） 8セット
(一社) がもう夢工房	がもう夢工房割引券（100円×5枚） 20セット
(一社) 八日市まちづくり公社	「鈴鹿の雫」1箱 24本

(株) 布引焼窯元	ギフト券 1000円×30枚
井上製菓（株）	1000円分のクーポン券×5枚
農事組合法人 万葉の郷ぬかづか	お米割引券 10% 100枚以内
銘茶ますきち	近江のしづく（500ml 1ペットボトル）×10本
一般社団法人東近江市観光協会	近江商人屋敷（3邸）ガイド付見学券：入館無料（10名以内）
整体院サルビア	整体施術体験無料券 10枚

3. 協働ラウンドテーブルの開催

（1）協働ラウンドテーブルの運営委員会の開催

協働推進委員会より派生し、地域課題を解決へ導くために、課題を共有する仕組みとして円卓会議の「まちのわ会議」を開催している。ラウンドテーブルの仕組み及び、実践・試行を行う委員会である。月1回行う。

（2）まちのわ会議の開催

①テーマ：「地域が農業を変える！～若者が語る未来像～」

日時：2018年9月24日（月）

13:30～14:30（フィールドワーク）

15:00～18:00（地域が農業を変える！～若者が語る未来像～）

場所：蒲生コミュニティセンター 小ホール

着席者

《論点提供者》 岡田さん（蒲生岡本町）

《高校》 八日市南高校：学生 樋口豊士さん、市岡幸奈さん

《農業者》 小笠さん（蒲生岡本町）

《農協関係》 JA滋賀蒲生町：谷口さん

《地域商社》 (株)東近江あぐりステーション：松井さん

ファシリテーター ○竹内 清臣（協働ラウンドテーブル運営委員会）

○大橋 正徳（協働ラウンドテーブル運営委員会）

記録 ○森下 瑠美（協働ラウンドテーブル運営委員会）

総括 ○小倉 昌和（協働ラウンドテーブル運営委員会）



場所：島根県雲南市

参加者：9名

島根県のちょうど真ん中に位置する雲南市。人口4万人の中山間村地域で実施されている「地域円卓会議」の様子を視察した。雲南市は、少子高齢化が全国よりも早くから

おこり、地域の過疎化、少子高齢化など今、言われている課題を何年も前から取り組んできた地域で、住民自ら考え、事業をつくりだす雰囲気を感じた。

地域円卓会議のテーマは、「地域包括ケア」。今回の参加者の多くは、東近江市でいう「まちづくり協議会」と同じ役割を担う「地域自主組織」だった。運営は、雲南市が中心となり行っておられ、今市民が必要としてニーズを的確にとらえてテーマを設定している。円卓会議の場づくりは、目的に応じて、その都度変化させているとのこと。柔軟に変化をさせながら、効率的に目的を達成させることができるように考えている。

(4) スキルアップ講座の開催

今回はメンバーのファシリテーションスキルの向上を学ぶために、公開で行う。

「いつもの会議の納得感、あがる？さがる？～みんなはそこにどう関わってる？～」

日時：2019年3月18日（月）13：30～16：30

場所：五個荘コミュニティセンター2F会議室

参加者：12名

参加費：1000円

主催：東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会

共催：東近江市グループ・ダイナミクス研究会

講師：関戸紹恭さん（はこぶちから）



(5) 愛知川ワークショップの受託

このグループワークショップのファシリテーターの要請があり、グループ毎に話を聞きながら記録を取る役割として8名（両日）参加する。

テーマ 魚のにぎわいを回復させるため愛知川での川づくりを考える

滋賀県では魚のにぎわい回復のための調査・研究として、愛知川流域をモデル地区としている。どのような調査・研究をしているのか地元の皆様に紹介させていただくとともに、その一環として、お魚のにぎわいのあった昔の愛知川で、地域の方々の子どもの頃の、釣りや遊んだ状況、川の様子を聞かせてもらう。

1回目 日時 2018年10月30日（火）13：30～18：00

2回目 日時 2018年12月 7日（金）13：30～18：00

場所 五個荘コミュニティセンター（両日）

ひろがる

1. WEB 媒体を使った情報発信

2018 年度も、団体から依頼のチラシ作成と活動団体の情報発信を行う。今年度は、チラシの作成以外にも、SNS の作成やHP の作成支援などもおこなった。紙媒体だけでなく、WEB を使った情報発信が見直されている。

以下チラシ作成と団体の情報公開の件数である。

(1) チラシ作成 19 件

HP や SNS の訂正や作成 4 件

(2) 各 HP や facebook などで紹介した件数

掲載場所	件数
まちづくりネット東近江の HP	99 件
まちづくりネット東近江の facebook	112 件
まちづくりネット東近江の Twitter	84 件
まちづくりネット東近江の Instagram	18 件
まちづくりネット東近江の Youtube	21 件
	総計 334 件

2. 広報誌「にじまち」の発行

今年度は、6 月、9 月、1 月、3 月の年 4 回広報誌「にじまち」を発行する。

冊子サイズ : A5 サイズ 16 ページ

部数 : 1500 部

コンセプト : 東近江市の「いいこと」「いいひと」「いいもの」

市内設置店舗 : 33 ヶ所 (市内外の事業所及び、公共施設など)

広報誌の目的

目的 1	若い人が住んでいる地域に興味をもってもらう
目的 2	東近江市で行われている市民活動を知ってもらう

(1) 内容について

にじまちは、以下のカテゴリに分け、編集会議で取材先の検討を行う。内容が決まつたあと、取材をし、記事を作成する。主に東近江市の市民活動やまちづくりを知り得る内容をテーマに応じて掲載する。

カテゴリ	中身
特集	その月のテーマに合わせて特集の内容を考える
まちのわ	まちのわの情報
コラボ	東近江市市民協働推進委員会のニュースレター
東近江人	東近江市の魅力ある人の紹介
マチコト	コミュニティビジネスの事例紹介
彩	東近江市の団体の紹介
地域のかわら版	市民活動団体からのお知らせ
お知らせ	まちづくりネット東近江からのお知らせ

(2) 各月ごとのテーマ

以下の表の通りテーマを決め、編集会議で具体的な取材先を決めていく



3月号 (vol.24)

(3) にじまち各号の内容

発行号	特集	東近江人	彩	マチコト
6月号 (vol.21)	「ぶら～とまち あるき」 平田地区上羽田 町 葛原 穂高さん	「政所茶をたく さん的人に飲ん でもらいたい」	「商店街で開催 する想い」 えんとつの町の ペペル展 at ハ 日市実行委員会	「地域の若い農 業者を応援する 洋菓子工房パビ 工」 洋菓子工房パビ 工
9月号 (vol.22)	「だれもが笑顔 で暮らせる～ま ちの中にある『集 いいね！』～」 中野ボランティ アセンター, 他5 箇所	「身近にある絶 景を探して」 中村 義宣さん	「地域に笑顔を うみだす劇団」 劇団どてかぼち や	「おいしい地域 野菜の献立で惣 菜を販売する」 ～スマイルキッ チン～
1月号 (vol.23)	「『地域のたか ら』から生まれた もの」 ファブリカ村、コ ミュニティビジ ネス団体	「描くことは生 きること」 太田由美さん	「地域の方のや りたいことをか たちに」 NPO 法人かじ やの里	「子育てママが 工夫を重ねて始 めるぐるりの家 の活動」ぐるり の家
3月号 (vol.24)	「東近江の祭り」 浜野町正社会樂 人部、ケンケト 祭、伊庭の逆下し	「私が持ってい る知識を還元し たい」 込山利志栄さん	「のんびりくつ ろげる『縁つな ぎの場所』を目 指して」 にほんの田舎暮 らし体験ハウス むいむい	「花びら1枚へ のこだわり」 87 farm (はなふあ む)

(4) 特集の目的

6月号「ぶら～とまちあるき」平田地区上羽田町

- ・東近江は古い歴史や豊かな自然に恵まれた場所が多く、素敵なスポットの宝庫なので、そんなまちを散策して案内する。

9月号「だれもが笑顔で暮らせる～まちの中にある『集いいね！』～」

集いいね！5箇所紹介

- ・東近江市社会福祉協議会がかかわる「集いの場」を地域の宝として紹介する。

1月号「『地域のたから』から生まれたもの」

ファブリカ村、コミュニティビジネス4団体

- ・地域の宝を見つけ、それを生かしながらさまざまなものが産まれているので、その取り組みを紹介する。

3月号「東近江の祭り」浜野町正社会楽人部、ケンケト祭、伊庭の逆下し

- ・伝統を守り、次世代につなぐ、地域のさまざまな祭りを紹介して豊かなまちの誇りを伝える。

3. 東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援

(1) パブリックアクセスとは

パブリックアクセスとは、一般市民が一定のルールによって自主的に放送番組を企画・制作することを指す。また、広くは放送に限らず「言論・表現の公共圏（パブリックフォーム）」にアクセスする行為や制度を指す。

パブリックアクセスは、政治やビジネスに専有されたメディアに多様な市民の意見を反映させる、民主主義の基盤的なシステムであり、先進国でこうした市民放送局が活躍しているが、わが国では法整備がなされていないため先進的な団体等が情報収集し、横の連絡を密にしながら取組み始めているのが現状である。

(2) パブリックアクセスの意義

パブリックアクセスを進める意義としては、情報を市民自身が制作し発信するという「当事者視点」を持ち、議論を徹底して物事を進めることで「合意形成の過程を共有」することができる。

また、東京中心の放送から脱却し、「各地域が情報発信の源」となることができる。

その他にも、地域の記憶を共有するような「ソーシャルキャピタルの構築」や、「過度の商業主義からの脱却」、「地域の非営利活動の促進」等が可能となり、熟議型民主主義が発展していくと考えられている。

(3) 東近江ケーブルネットワーク株式会社との番組制作

東近江スマイルネットにて、毎月1回、日曜日～土曜日まで市民投稿枠の中で15分の番組を制作している。番組名「まちのわ」。今年度は、11作品の投稿があった。以下、番組に投稿があった作品である。

投稿月	番組名	投稿者
4月	東近江が賑わう！本町パサージュ	トウクトウク
5月	スマホ動画撮影・編集講座 in 中野ヴィレッジハウス	玉緒地区まちづくり委員会 ペンネーム：玉ちゃん
6月	自主制作映画「夢みる望遠鏡」上映のご案内	竜田を語る会

7月	長谷地蔵と蛇つなぎ石のいわれについて	市辺地区まちづくり協議会 歴史文化部会
8月	能登川水車太鼓 20周年記念コンサート	川崎 日出夫
9月	「夢灯り作品展」in こもれ日小田苅家	こもれ日小田苅家
10月	みんなで創る輝く玉緒 180830	玉緒地区まちづくり協議会 (まちづくり委員会)
11月	お月見コンサート 2018 蒲生あかね古墳公園	NPO 法人まちづくりネット東近江
12月	パソコンボランティア能登川和ねっと！物語	パソコンボランティア能登川 和ねっと！
1月	SEATOSUMMIT2018 ダイジェスト	NPO 法人まちづくりネット東近江
2月	まちのわコンテスト市民投票	NPO 法人まちづくりネット東近江
3月	市辺れきし発見「虫送り」	市辺地区まちづくり協議会 歴史文化部

(5) 写真撮影・動画講座の開催

市民参加の情報発信の仕組み、意義を広げる。情報発信を行える市民を育成し、「まちのわ」への投稿への参加を促す。

内容：写真撮影や動画撮影・編集に興味がある方、上手な撮影・編集方法を知りたい方が撮影方法や編集方法、質問をする講座。今年度は、夜の写真撮影講座と能登川のパソコン教室の指導ボランティア向けに動画編集講座を開催した。

①パソコンボランティア和ねっと動画編集講座

日時 第1回 2018年7月27日（金）19:00～19:00

第2回 2018年9月19日（水）19:00～19:00

場所 能登川コミュニティセンター

参加 40名（両日）

講師 森下瑠美・藤一道（まちづくりネット東近江）

②夜の写真撮影講座～

日時 2018年9月22日（土）18:30～20:30

場所 悠久の丘あかね古墳公園

参加費 1,000円

講師 谷田寛次さん（株式会社 WeaveStyle）

参加者 6名

- ・上級者向けの夜の撮影方法のコツを学ぶ
- ・参加者の写真をまとめ、動画にしてホームページやまちのわに投稿することでパブリックアクセス推進協議会の活動を知ってもらい、自ら情報発信をする意識を高めて貢う。



↑ 参加者の写真



↑ 講師の写真

所感

滋賀県東近江市悠久の丘あかね古墳公園にて開催された「お月見コンサート」の会場の展示や演目を被写体として、少人数制で講師の方にアドバイスをもらいながら講座ができた。夜の撮影は、昼の撮影と違いカメラの設定が難しく、今回は一眼レフカメラを持っている中級者以上の参加とした。参加者の写真を提出してもらい動画にしてまちづくりネット東近江のホームページや Facebook、Youtube、また市民投稿番組のまちのわにも投稿することで、他の参加者の写真を見ることが出来て今後の励みにつながったという意見をもらえて良かった。

(6) まちのわコンテスト市民投票の開催

目的：市民投稿番組「まちのわ」に投稿頂いた作品を表彰することによって、今後の投稿を促すためにコンテストを開催した。

また、表彰式については、メディアリテラシー講演会の日程調整の上、来年度の5月25日に同時開催する。

投票期間：2019年2月22日（金）～3月8日（金）（WEB投票は3月22日まで）

場所：東近江市役所正面玄関ロビー

受賞作品

賞	団体名	作品
最優秀賞	玉緒地区まちづくり協議会	みんなで創る輝く玉緒 180830
優秀賞	市辺地区まちづくり協議会歴史部会	長谷地蔵と蛇つなぎ石のいわれについて
市民応援賞	パソコンボランティア能登川和ねっと！	パソコンボランティア能登川和ねっと！物語

4. その他の情報発信

(1) 情報発信力強化

市民活動や地域活動に関する情報を取材し、広報誌、まちづくりネット東近江のホームページやfacebookで発信した。市役所1階ロビーの壁面と事務所玄関に市民活動情報掲示板を設置し、チラシやパンフレットの掲示を行った。

また、情報発信ツールとして新たにTwitter、Instagram、Google+、Youtubeのアカウントを作成し、発信する媒体を増やし発信力を強化した。

(2) そちら編集委員会への参加

東近江市に住んでいる人や場所、祭事や活動など「東近江市の今」を若い世代に知つてもらうことを目的として、各種団体にかかわる方々と編集会議を行い、作成する。

そちら編集委員会

冊子「そちら」を作成するにあたり、編集委員会を設置し、2回の編集会議を行い、取材を進める。第1号、第2号、第3号、第4号、第5号とテーマを定め、冊子の制作を行ってきた。

今号のテーマは、「ローカルアイデンティティ」

(3) つれづれ日記の発行

まちづくりネット東近江の活動をしらべるために1ヶ月に1度作成。事業の報告及び、翌月の予定などを掲載。

運営委員、会員向けに配布。また、市役所1階掲示板に掲示・設置し市民向けに配布。今年度は、4月から7月までは配布できたが、スタッフの入れ替えなどで、制作できず、8月以降配布出来なかった。来年度以降は制作時間を簡素化して、リニューアルされるHPの事業を報告するページのURLを更新するタイミングでSalesforceのシステムを使い、会員向けにメールを一括で報告する仕組みに変更をする。

支え合う

1. にじまちサポートーズの実施

市民活動団体が実施する事業を市民が支援する事業指定寄付制度。この制度に参加することにより、取り組みが活性化することや、資金調達の方法を知り今後の活動に活かせることを学ぶ。

(1) 採択団体と寄付額

①採択団体

- 八日市おかえり食堂（おてんとさん）

「『おかえり』とあったかいごはんが待っている地域のとぎれない居場所をつくりたい」

- NPO こもれ日小田苅家

「築150年の古民家に“いのち”を吹き込みます！0歳～100歳の人達の活動拠点をつくります！」

②2017年度集まった寄付額

団体名	目標金額	寄付金額	まちづくりネット繰り入れ分)	振込額（手数料差し引き後）
NPO こもれ日小田苅家	500,000円	97,437円	99,552円	177,263円
八日市おかえり食堂	500,000円	275,358円	173,142円	403,650円
寄付金総額		372,795円	272,694円	580,913円

(2) にじまちサポーターズ①説明会&②個別相談会

①2018年4月13日(金) 19:00~21:00

場所: 東近江市役所新館317会議室

参加者数 39名

②2018年4月24日(火) 10:00~16:00

場所: まちづくりネット東近江事務所

参加者数 6団体

内容: にじまちサポーターズに応募をしてみたい団体に向けて、どのような寄付制度なのか説明し、団体が疑問に思っていることにもその場で対応する

(3) にじまちサポーターズ応募団体ヒアリング、選考委員会

日時: 2018年5月18日(金) 17:00~

場所: まちづくりネット東近江事務所

内容: にじまちサポーターズの採択団体を決定した。決定にあたっては、選考委員会で応募団体にヒアリングを行った。ヒアリング後、選考委員の評価をもとに採択団体を決定した。

採択団体・八日市おかえり食堂(おてんとさん)「おかえり」とあったかいごはんが待っている地域のとぎれない居場所をつくりたい」

- ・NPO こもれ日小田苅家「築150年の古民家に“いのち”を吹き込みます！0歳～100歳の人達の活動拠点をつくります！」

以下の審査項目で審査する。

- ・事業の目的
- ・事業の計画性
- ・地域への波及効果
- ・寄付制度の理解
- ・実現能力の有無



(4) にじまちサポーターズ作戦会議

寄付集めを進めていくにあたり、にじまちサポーターズ参加団体と事務局で意見を出し合い寄付集めの方法や今後のスケジュールなど確認を行った。

日時: 2018年7月4・7日 第1回にじまちサポーターズ作戦会議(団体個別)

2018年9月5・6日 第2回にじまちサポーターズ作戦会議(団体個別)

2019年1月21日、25日第3回作戦会議にじまちサポーターズ(団体個別)

(5) にじまちサポーターズ普及活動

にじまちサポーターズを知って頂くために、パンフレット作成やプレスリリースを実施。

実施内容: 8月下旬 にじまちサポーターズパンフレット配布(市内コミセン、図書館
県内中間支援施設など)

8月下旬 ドネーションパーティーPR

11月3日 二五ハ祭りでのスマイルネット生中継にてPR

(6) イベントや寄付商品販売での寄付集め

市内の事業所に募金箱を設置し、市民に募金型の寄付を募った。

①募金箱設置協力事業所 (順不同・敬称略)

井田自動車	めがね工房テラダ	いだはいしゃ
ボネール吉屋	太子ホール	パピエ
株式会社ミナミイ	野菜花	コガモカフェ
中野ヴィレッジハウス	あいとうマーガレットステーション	くつろぎ茶幸
CO-GAMO-CAFE	セリーヌ	外川善種苗店
ルトンセラン	重森スポーツ	マエダクリーニング
八日市北小学校	KOKON	スマイルキッチン
ABC 食堂	東近江市福祉センター ハートピア	ますきち
東近江市総務部まちづくり協働課	特定非営利活動法人東近江スポーツクラブ楽苦備	

事業所 Mitte は、年間通じてコーヒーチケットの売り上げの一部を寄付として協力いただいた。

②東近江市内で行われたイベントに参加し、にじまちサポーターズの寄付集めを行った。

9月22日 蒲生お月見コンサートにて、寄付付き商品（焼きそば）の販売

11月3日 二五ハ祭りにて、寄付付商品（バザー品）の販売



写真：お月見コンサート、焼きそば販売ブースの様子



写真：二五ハ祭の様子

(7) にじまちサポーターズ検討委員会

2018年度の事業の反省、2019年度の計画や募集要項などの検討は以下の日程。

日程	検討内容
2019年2月6日（水）	2018年度にじまちサポーターズ採択団体中間発表 2018年度採択団体活動評価と寄付配分決定
2018年2月26日（火）	2019年度事業指定寄付制度にじまちサポーターズ実施計画書・募集要項の検討

2. 東近江市わくわく市民活動支援補助金事業の運営協力

(1) 東近江市わくわく市民活動支援補助金

東近江市わくわく市民活動支援補助金は、市民が主役のまちづくりを推進するため、市民活動団体が自ら企画して実施する活動に対して、市がその経費の一部を助成する補助金制度であるので、連携し支援する。

3. 東近江三方よし基金との連携

(1) 東近江三方よし基金の公益財団法人化

「志のあるお金」を「地域資源を活かしつつ」解決をめざす多様な主体やその取り組みに対し、社会的に意義のある活動に生かすために「東近江三方よし基金」が設立された。

2018年度に公益財団法人となり、新たな助成や寄付、SIB事業など大きく広がっている。今後も連携をしながら、それぞれの役割を明確化し、必要な連携を考える。

(2) SIB事業成果発表会

今年度の三方よし基金のSIB事業である東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業に採択された2団体と子育て支援の事業団体2団体の成果発表会の支援を行う。SIBの仕組みを取り入れられ3年目となり、これまでの市と採択団体のやりとりだけでなく、多くの人に関わってもらう機会が創出できるようになった。市民の一人一人が自分事のようにそれぞれの事業に関心を持ち、参加を促す機会になっているのではないかと考える。成果報告会でも、応援した団体の成果を知ってもらう機会や、団体同士が関わりを持つ機会になった。

当日は、成果発表会の準備や、片づけ、受付などを行う。

日時：2019年3月9日（土）10:00～12:00

場所：東近江市福祉センター ハートピア

当日の内容

事例発表

金融会社から償還の説明

4. コミュニティビジネス支援

(1) コミュニティビジネススタートアップ事業相談会の概要

目的：・地域のためのビジネスを支援すること。

・地域の活動を更に発展させること。

・今後の活動について助言をもらうことで、さらに発展していく。

対象：東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の採択団体

内容：講師に団体が現在、困っていることや課題を感じていることに対して、アドバイスを頂く。SIB（ソーシャルインパクトボンド）の仕組みを使った補助金などで、成果目標が達成できているかも同時に確認を行い、アドバイスを行う。

講師：鵜飼修さん（滋賀県立大学准教授）

コミュニケーション相談会の内容

回数	日程	内容
1回目	7月12日（木） 14:00～17:10	・今後の活動について ・これから始めるにあたって困っていること。

2回目	10月17日(水) 10:30~15:00	・活動進捗状況の確認及び困っていること
3回目	1月16日(水) 15:00~18:00	・活動進捗状況の確認及び来年度に向けて

(2) 参加団体(2団体)

1) ぐるりの家

事業名:「東近江市から始まる新しい子育てのシステムづくり」

成果目標

- ①活動のミッション、コンセプトをふまえた8種類のイベントを企画開催する。
- ②イベント等への参加者に対しアンケートを実施し、ニーズを把握する。
- ③団体ならではの「子育てシステム」を次年度から運用できるよう事業計画を作成する。

2) 政所茶生産振興会

事業名:「政所茶の販路拡大・ブランディング」

成果目標

- ①生産コスト3倍の価値を購入してくれる人を獲得するためのマーケティング(アンケート等の調査、販促活動)を行う。
- ②マーケティング調査をふまえたモニタリングツアーを実施する。
- ③政所茶の物語やモニターによる評価をとりまとめ、それらを情報発信するウェブサイトの開設をする。



(3) 東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の成果審査会の支援

今年度、東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業の成果審査会の支援を行う。審議内容を見える化できるよう板書を行う。

日時: 2019年3月6日(水) 19:00~21:00

場所: 東近江市役所320会議室

(4) コミュニティビジネスの事例収集と紹介

東近江市内で取り組まれている事業や団体立ち上げについての情報を収集した。

団体名: 手仕事工房 むいむい
愛東地区で、古民家をリフォームし昔ながらの手仕事を子どもたちや地域の人に伝える活動を行う。また、県外からこられる学生を対象に農家民泊を行う。地域の魅力を県内外に発信をしながら、活動を広げている。

団体名：養生を学ぶ会

身边にある食材や植物を使って、健康維持を図るため、東洋医学の視点を取り入れた薬膳茶講座を開催。薬を使わずに健康に過ごすことができることを目指し、それに伴い、健康保険料の軽減を目指して活動されている。

市民活動支援

1. 講座の開催

(1) ひよこサロン

内容：市民活動をしていきたいと思っている方や、これまで様々な活動をしてきたが、もっと関わる人を増やしたいと思っている方などが集まり、学ぶ機会とする。その中で、普段の悩みなどを話してもらいながら、まちづくりネット東近江の相談事業へつなげていく。

日時：2018年8月23日（木） 参加1名
2018年10月25日（木） 参加1名

場所：まちづくりネット東近江事務所

＜所感＞NPOミニ講座として、市民活動・NPOについて話をし、その後市内や県内の市民活動について事例を話し、質問を交えながら意見交換を行った。

40代～50代の女性で、自分の拠点を使って地域コミュニティに関する何かをしたいと思う方たちだった。女性の起業意欲が高く今後コミュニティビジネスの仕組みなどについて紹介する。

(2) Webマーケティングセミナー

日時：2018年7月11日（水）14：00～17：00

場所：能登川コミュニティセンター別館研修室

参加費：1,000円

参加者：38名

講師：堤大介さん（株式会社STYZ）

内容：公益組織に関わる自らのビジョン実現、

ミッション達成のために効果的に

Webを活用するための様々な方法を学ぶ。



＜参加者アンケートより＞

- ・活動についての目的や取り組み手段などがわかりやすく学べてとても良かった。特にNPOに特化した説明が良かった。
- ・ネット世代ではない人達に向けてのアプローチの事も今後考えていきたいと思った。

講座の感想	
大変わかりやすかった	13
わかりやすかった	16
少しわかりにくかった	0
わからなかった	0
無回答	2

＜所感＞

公益組織におけるWebマーケティングは、なかなか学べる機会はないので良かった。ホームページにアクセスしてもらうだけでなく、その後どういう行動をしてもらいたいかを考えることで、記事の内容やホームページのレイアウトにつなげることができると学んだ。これからホームページを作りたい人だけでなく、既にホームページを持っていて情報発信に悩んでいる人など、スタート地点が異なる参加者全員が為になり、講座の後に、それぞれがどんな行動を取っていくかまで描けた。

(3) 薬膳茶学習会

活動を始めたいという相談から支援を行い、薬を飲まなくてもよい身体づくりについての講演を行い、今後の活動の方向性を探る為の薬膳講座とする。

日時：2018年7月26日(小田刈家)、

9月27日(ウエルネス八日市)、

11月29日(ウエルネス八日市)

2月28日(ウエルネス八日市)

参加費：1,000円

参加者：71名(合計)

講師：込山利志栄さん



＜所感＞

企画作成や、申込みの代行、講座当日の運営支援をおこなった。参加者に好評で、リピートで参加される方が多かった。

(4) チラシ講座

今回の講座は、チラシ作成の基本事項を知り、これまで自団体が作成したチラシをリメイクする作業を通じて、集客に効果的なチラシ作成方法について学ぶ機会とした。

日時：2018年10月4日(水) 14:00～16:00

場所：蒲生コミュニティセンター学習室5

参加費：1,000円

参加者：20名

講師：平本久美子さん



＜参加者アンケートより＞

- ・具体的な例を交えてポイントを教えてもらえた。
- ・悪い例のチラシを良い例に変えていくところが非常に分りやすかった。
- ・持ってきたチラシの添削をして欲しかった。
- ・実際にパソコンを使って作成したかった。

今日の満足度は？	
満足！	15
まあ満足	3
普通	0
ちょっと物足りなかった	0
物足りなかった	0

＜所感＞

初心者にも分りやすくポイントを押さえて教えてもらえた。参加者の満足度が高い講座となった。悪い例のチラシのポイントを押さえて良い例に変えていく事例を数パターン紹介してもらえたのが良かった。今後の別の講座でも、このような Before、After を取り入れた内容を講師と検討できるものは活かしていきたい。

（5）Facebook 講座

＜目的＞

Facebook を使ったことがない方を対象に、個人アカウントの作成にとりくみ Facebook を利用してもらう環境をつくる。活用できる人を増やすことで、市民の情報交流が盛んになるきっかけを作り個人の利用から地域で活動する団体やグループでの活用につなげる。

日時：2018年10月24日（水）①初級編 ②中級編

場所：まちづくりネット東近江事務所

参加費：1,000円

講師：①藤 一道、②森下瑠美

参加者：①1名 ②3名

内容：①個人のアカウントを作成し、プロフィールの作成、記事の投稿方法を学ぶ。

②団体のページの作成方法と、イベント、広告ツールの活用などより団体の効果的な発信方法を学ぶ。

＜所感＞

アカウントを以前に作っていて、携帯電話の機種変更などの際に、ID、パスワードを忘れてログインできないという参加者は毎回多いことがわかった。今年度はそうした初期の問題の対策にもスムーズに解決できた。Facebook だけでなく、Web を活用した情報発信を行う上で基本となる問題なので、きちんと管理できるように指導をしていく。

（6）会計講座

＜目的＞決算時期も近いので、決算書をつくるときに気をつけることを知る。本年度の予算を立てるときにどんな点に気をつけることを学ぶ。

日時：2019年1月23日(水) 14:00～16:00

場所：東近江市役所314会議室

参加費：500円

参加者：11名

講師：石井俊行(石井会計事務所)

＜所感＞

貸借対照表や活動計算書(損益計算書)の違いや疑問を学ぶことが出来た。わかりやすい内容で、参加者も満足度が高かった。

また、会計については、簿記や日々の記帳の仕方について学ぶ機会ができた。

(7) 東近江星空ロマン俱楽部の講座開催支援

＜目的＞何か活動をしたいという相談から講座の支援を行い、今後の活動の方向性を探る 為に星空観察講座を行う。

日時：2018年7月6日(金) 16:00～17:00

場所：八日市コミュニティセンター

台風接近の為、中止となる。

日時：2018年9月22日(土) 17:00～

場所：悠久の丘蒲生あかね古墳公園

＜所感＞

講座の企画の立て方や、チラシ内容の検討を伴奏支援した。1回目は中止となつたが、2回目は無事に開催できた。活動PRの為のポストカードの作成も支援した。

2. 相談

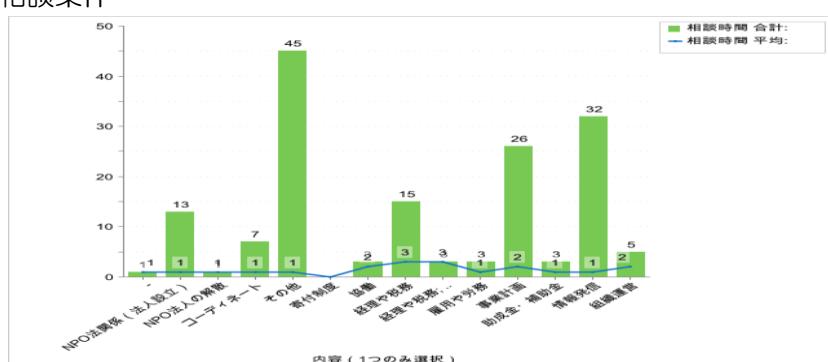
(1) 窓口・電話による相談対応について

県内の中間支援団体の相談件数の把握のために、相談内容と相談者の所属を統一する
ために、意見交換会を行い、統一の方向となつた。

拠点が知られるようになり相談者が直接訪問される場合も増えた。相談内容は広報・
PRなど情報発信に関するものは相変わらず多い。その中からホームページ作成に結び
ついた例もある。情報発信がWEB主体に変わりつつあり、ホームページ作成の要望は
強い。市民活動相談として「組織・事業運営」についての相談も多い。解散の相談が1
件あった。NPO法施行20年を過ぎ、後継者問題等で継続が難しいNPOも多い。解散
については今後も増えると思うので推移を見守りたい。

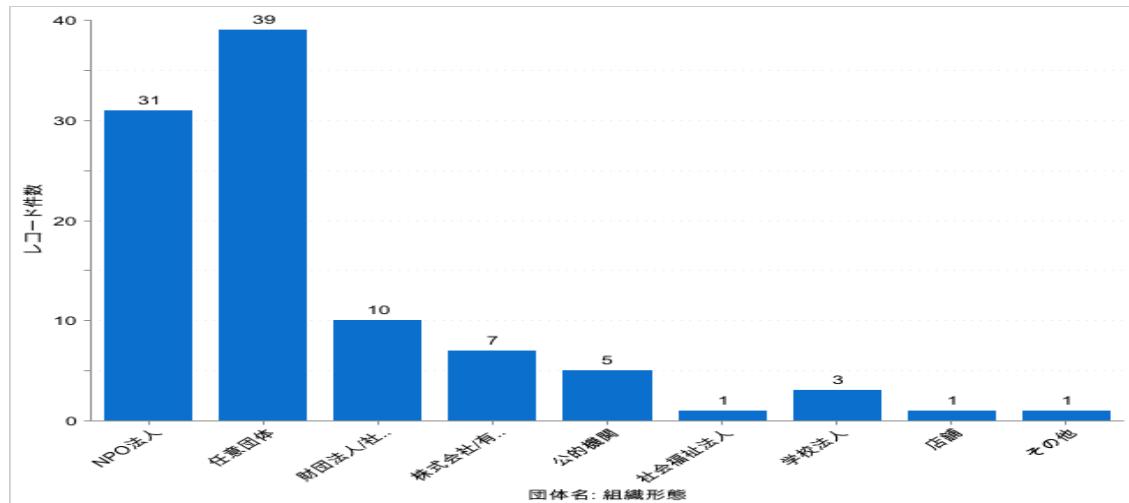
実績：総相談件数116件、相談総数時間155.4時間

①相談案件



大分類	小分類	件数
1 設立・解散相談	設立の手続きと流れなど	16件
2 会計・財務相談	会計・財務の具体的な内容など	5件
3 市民活動相談	組織・事業運営、「協働」に関することなど	32件
4 情報発信相談	広報・PR、情報発信など	28件
5 助成金相談	助成金、活動支援金など	4件
6 その他	上記分類に当てはまらないもの	31件
		(総計) 116件

②主な相談者



(2) 各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣、専門家の仲介

相談案件のうち専門的な支援が必要なものは、専門家及び専門機関へのコーディネイトを行った。

①会計の相談

対象団体	ぐるりの家、政所茶生産組合
連携先	税理士 石井俊行さん
内容	団体の会計について基本を学び、今後の団体会計の注意点などを学び、これからの記帳の参考としてもらう。
関係者	まちづくりネット東近江

②情報発信の相談

対象団体	畠増
連携先	ウイーブスタイル
内容	「東近江小さなたびいち」に掲載する写真が上手くできてないと言うことで、ウイーブスタイルを紹介して取り直しをしてもらった。
関係者	東近江市観光協会、まちづくりネット東近江

③視察先の紹介

対象団体	IIHOE主催「フロンティア・サイト・ヴィジット2019 in 東近江」および「アドバイザリー・ボード・ミーティング」(ABM)
連携先	蒲生夢工房(コガモカフェ)、中野ビレッジ、あいとうふくしモール
内容	IIHOEの川北さんより、東近江市での研修として各視察先の問い合わせがあったので、共に参加しながらの研修とした。
関係者	公益財団法人三方よし基金、まちづくりネット東近江

(3) ボランティア希望者と受け入れ団体のコーディネイト

学習支援の学生ボランティアを募集の手伝いを行う。

- ・東近江市社会福祉協議会が開催されている「学習支援」の学生ボランティアの募集を行う。SNSやHPを使って広報、またチラシの配布などを行った。
- ・NPO法人里山保全活動団体遊林会よりボランティア募集の協力をした。

2. 広葉樹の利用と森林再生についてのワークショップと現地検討会 in 東近江

東近江市で昨年度から行われている「鈴鹿の森おこし」推進ワーキンググループからのビジョンや全国で森林に関する研究を行っている専門家が集まり、「森林づくり」「資源利用」「森林経営管理」をテーマに分科会を開催。記録係の手配を行った。

日時：2019年2月22日(金) 15:50～18:00

場所：愛東コミュニティセンター

3. 東近江市未来を育む取組体系図検討ワークショップ

- ・市内で活動している方々に集まってもらい、様々な活動の対象者がどの年代をターゲットとしているかを把握する。
- ・市内の活動のターゲット層を知ることで、層の薄い部分を知ることで、活動している人が、事業を展開するときに対象者として考えてもらう機会とする。

日時：平成31年2月8日(金)

16:00～18:00 大学生の発表会

19:00～21:00 ワークショップ

場所：浜野会館

メインファシリテーター：深尾昌峰さん(龍谷大学政策学部教授)

◎事前の準備について

チラシ作成及びワークショップへの声かけ

ワークショップに参加してもらうために、チラシを作成し、市内で活動している方を中心に戦略会議への声かけを行う。

◎当日のスケジュール

- 16:00～ 大学生の発表
- 18:00～ テーブルファシリテーターとの打ち合わせ
- 19:00～ ワークショップの開始
- 19:15～ 話題提供①「探検の殿堂の取組」
- 19:25～ 話題提供②「子民家エトコロの取組」
- 21:00 終了

◎参加人数

第1部 80人 第2部 55人

◎当日の記録



↑ 大学生の質問コーナー



↑ 会場の一番共感が高かったところを表彰



↑ 各テーブルで話し合いを行う



↑ 各テーブルより全体共有する

地域循環共生圏構築検討事業

1. 環境省より地域循環共生圏構築にむけて

環境省からの委託を受けて、住民参加型の課題解決につながる関係団体と連携して、「多様なプラットフォームづくり」、「自立のための経済的仕組みづくり」、「人材育成」のテーマで事業を進めた。

環境分野での課題は、幅が広く一つの分野では収まりきれないものが多い。だからこそ、多角的な視点から課題に取り組むことができるよう意識づける場が必要である。その場が「円卓会議」であり、その課題の解決に向けて、様々な立場から見えてきた事実をもとに、課題を共有する場が大切だと考える。環境課題を市場原理だけで解決することは出来ないため、三方よし基金と環境活動を支える資金調達の仕づくりを連携して取り組んだ。まちづくりネット東近江がこれまで行ってきた、「団体が自立できる持続可能な事業」を進めていく。

(1) 多様な主体によるプラットフォームづくり

①環境円卓会議 in 東近江の開催

地域の森林に関わる様々な分野の人に集まってもらい、東近江市の森林の現状と今後の可能性を考える東近江市環境円卓会議を開催した。円卓会議では、森林所有者、東近江市永源寺森林組合、びわ湖の森の生き物研究会などの関係者がそれぞれの立場で語り合い、森の現状と可能性を関係者や参加者と共有し、今後の森づくりの視点を話し合った。

②円卓会議

東近江市環境円卓会議運営委員会 3回開催

③地域担当職員向け研修会の開催

日時：11月20日（火）18:00～20:00

環境、経済、社会に寄与する市内団体の情報収集を実施。

④住民参加型の生物多様性評価手法の確立（いきもの調査隊の実施）

住民参加型生物多様性調査(9/17 魚類・昆虫、9/24 鳥類)

住民参加型生物多様性調査(10/8 魚類・昆虫、11/10 鳥類)

(2) 自立のための経済的仕組みづくり

①公益財団法人へ登記変更

2018年7月2日公益財団法人東近江三方よし基金設立

②公益認定感謝祭

第1部 設立記念式

第2部 基金を生かすクロストーク

コーディネーター 深尾昌峰さん

コメンテーター 江波千佳さん、岩根順子さん、池永肇恵さん

第3部 交流会

③寄附意識の醸成

12月は、寄付月間ということもあり、東近江三方よし基金を市民の方に知っていたくためにも、市役所に特設ブースの展示や年に1度開催している東近江市市民活動推

進交流会～わくわくこらぼ村～へ参加し、普及活動をおこなった。

④東近江市版SIB 実証事業

(3) 人材育成

①円卓会議開催手法勉強会

全5回を通じて、円卓会議をするときのゴール設定やテーマの表し方などを専門家から学び、実勢に開催する。

第1回：5月22日（火）19:15～21:15

第2回：6月20日（火）19:15～21:15

第3回：7月24日（火）19:15～21:15

第4回：8月28日（火）19:15～21:15

本番：9月24日（日）14:00～17:00「農業の担い手」をテーマ

第5回：11月5日（火）19:15～21:15

②雲南省へ円卓会議の手法の視察にラウンドテーブル運営委員会として参加

雲南省へ地域円卓会議の手法を視察する。

2019年2月13日（水）～2月14日（木）

地域資源の発掘調査

1. 地域資源発掘ワークショップ

(1) 業務目的及び内容

本市には数多くの地域資源があるものの、観光資源として集客度が低い状況にあり、地域資源を観光資源とするためには、競合する隣接地域や同種の資源と比較・分析し磨き上げていくとともに、地域住民がその価値に気づき、地域を超えて互いにその価値を認め合い、市民として共有していくことが必要である。

今後、観光戦略を具現化するために、市民と共にワークショップ形式により資源を発掘し、ブランド化、コンテンツづくりを行い、地域経済の活性化、住民にとって誇りと愛着を持てる、活気あふれた地域社会を築いていくことが目的である。

(2) ワークショップの目的

今回の体験型観光コンテンツを理解し、地域の資源を生かした観光コンテンツづくりを共に創るための土壌をつくる。

- 地域資源を生かした事業を観光へと結びつける。
- 体験型の観光コンテンツをつくる。

(3) 内容

①博覧会実現に向けた、ビジョン共有ミーティング（第1回）

目的：地域資源を生かした事業を観光へと結びつける。

先進地事例の話を聞き、観光コンテンツづくりへの関心を高める

日時：2018年9月13日（木）18:30～21:30

場所：河辺いきものの森

内容：主催者より趣旨説明

先行事例紹介：講師 蒲 勇介さん（NPO 法人 ORGAN）

テーマ：「長良川おんぱく」と地域で行う体験プログラムの可能性

ビジョン共有ミーティング「できること、やりたいこと、目指す町」

参加者：43名



②博覧会実現に向けた、ビジョン共有ミーティング（第2回）

目的：具体的な体験型の観光コンテンツをつくる。

日時：2018年10月10日（水）18:00～21:00

場所：東近江市役所東 A 会議室

内容：ワークショップ「体験企画を練ろう！」

発表「煮えた企画を発表しよう！」

講師：蒲 重介さん（NPO 法人 OBGAN）

参加者：24名



2. 観光コンテンツの造成

今回、新たに観光コンテンツの造成に向けて取組むために、企画内容を伝えるための文章作成や写真撮影などの支援を行った。

①企画内容の検討及び文章作成

目的：10月10日に練り上げた企画をもう一度見直し、参加者目線を入れることで、よりよいものをつくっていく。その中で、キーワードとなる言葉を拾い、文章を作成していく。

日時：(1回目) 10月22日(月) 10:00~15:30

(2回目) 10月26日(金) 10:00~12:00

場所：まちづくりネット東近江事務所

講師：今若 真樹さん（元 LIVING のライター）

北林 友義さん (DTP デザイナー)

参加団体：5 団体

別日：10月29日（月） 12月4日（火） 12月20日（木）に支援を行う。



②写真講座「素敵な写真が撮れる方法を学ぶ講座」

目的：写真撮影に関するスキルについて幅広く学ぶ。

講座の中で会場周辺を実際に撮影し、上手な写真の撮り方について学ぶ。

日時：2018年10月23日（火）14:00～16:00

場所：東近江市役所東C会議室

講師：谷田 寛次さん（WeaveStyle）

参加者：5名



3. WEB広告の報告

今回、「ひがしおうみいちいさなたびいち」を Instagram、Facebook、Twitter にて公式 HP への誘導を目的に広告を行った。

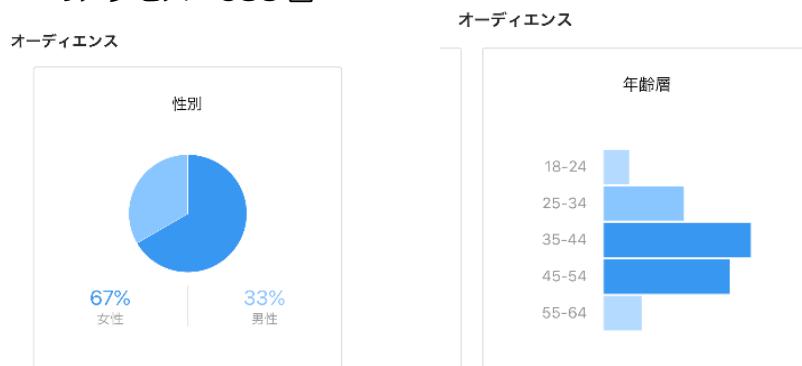
①Instagram

広告期間：2019/01/16～2019/02/28（43日間）

広告範囲：滋賀県、三重県西部

閲覧数：57918回

HPへのアクセス：683回





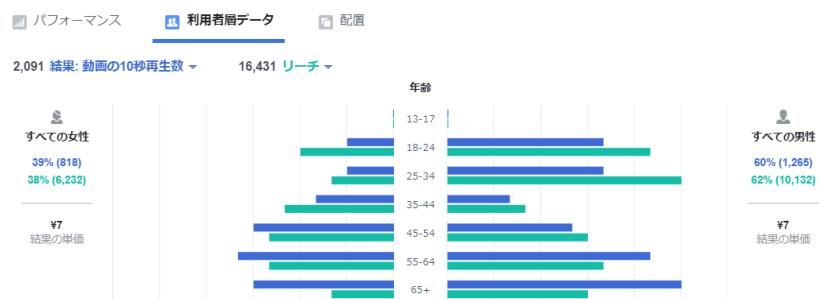
②Facebook

広告期間：2019/01/16 ~ 2019/02/28 (43日間)

広告範囲：東近江市 80km 圏 (関西・東海地区)

閲覧数：16431 回

HPへのアクセス：117回 (スライド再生数 9388回)



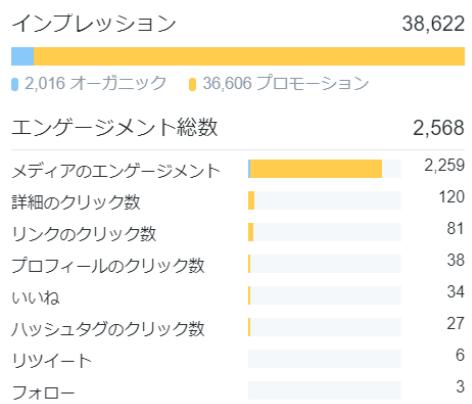
③Twitter

広告期間：2019/01/16 ~ 2019/02/28 (43日間)

広告範囲：日本

閲覧数：38622回

HPへのアクセス：81回



＜所感＞

この活動を通して、多くの方々に趣旨をお話しする機会をもてた。今回はイメージが創出できないという意見や、準備が間に合わないと言われた方が多く、参加には結びつかなかったが、数例の事例があると今後に結びつくと思われる。時間の問題や参加申込方法など、課題もあるので今後の検討事項とする。

事業実施体制

1. スタッフ研修

(1) 各種研修への参加

中間支援組織として、日々の業務に多様なスキルが必要になる。そのためにさまざまな講座に参加し、スキルの向上を図る。

参加した研修

	日時	イベント・フォーラム名
1	2018年4月19日～20日	Salesforce 研修参加
2	2018年5月20日	NPOの20年とこれから
3	2018/6/8～6回	社会的インパクト研究会
4	2018年6月13日	Salesforce 勉強会参加
5	2018年9月2日	公益財団法人東近江三方よし基金フォーラム
6	2018年9月28日	全国メディフェス参加
7	2018年10月28日	課題解決型協働推進セミナー
8	2018年11月21日	NPO法20周年記念フォーラム
9	2018年11月22日～3日	市民セクター全国会議
10	2018年12月16日	ひがしおうみ社会福祉大会&見守りフォーラム
11	2019年2月11日	京都NPOセンター設立20周年記念シンポジウム
12	2019年2月13日～24日	雲南省円卓会議視察
13	2019年2月15日	「2030SDGsカードゲーム体験会」
14	2019年2月13日	休眠預金がやってくる
15	2019年3月3日	地域創生講座
16	2019年3月20日	協働をより効果的なものにするために「コレクティブインパクト」の導入

2. 県内中間支援団体とのネットワーク

(1) 市民活動支援センター意見交換会

滋賀県内の中間支援センターで働くスタッフ間の研修や情報交換の場として開催されている。今年度は順番により当団体が世話人となり、会議の企画を考え東近江で開催した。テーマは、県内の相談事業の内容と相談者の所属を統一してはどうかの意見があったので、そのことについて意見交換を行い、一定の方向を出した。

①第1回市民活動支援センター意見交換会

日時：2018年7月3日（火）13：30～16：45

会場：ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター 204会議室

内容：●滋賀県の市民活動の歴史を学ぶ

　　講師：阿部圭宏さん（しがNPOセンター代表）

●市民活動支援センターの情報交換

- ・意見交換会の位置づけについて
- ・今年度の事業について

②第2回市民活動支援センター意見交換会

日時：2018年10月25日（木）13：30～16：45

会場：東近江市役所

内容：相談事業の現状

　　相談者の区分け

　　相談内容の区分け

③第3回市民活動支援センター意見交換会

日時：2019年2月19日（火）13：30～16：30

会場：ほりかふえ（近江八幡市）

内容：休眠預金の指定活用団体の資料を読み込む

　　社会的インパクト評価について

　　市民活動支援センターの情報交換

3. 運営体制

(1) 総会の開催

日時：2018年5月19日（土）16：00～16：50

場所：八日市商工会議所所

参加者：31名

＜議事＞

　　第1号議案 2017年度事業報告（案）について

　　第2号議案 2017年度活動決算報告（案）について

　　第3号議案 役員選任の件について

＜報告＞

　　2018年度活動計画について

　　2018年度活動予算について

(2) 運営委員会の開催

年5回の運営委員会を開催し、組織運営に関する協議を行った。

開催日時	協議内容	出席者数
第1回 2018年5月9日（木） 19:00～21:00	事業計画（5周年事業） にじまちサポートーズ 2017年度事業報告 2017年度決算報告 役員の選任について 役員報酬規程・給与規程	11名 (内事務局4名)
第2回 2018年7月18日（水） 19:00～21:00	2018年度事業計画 代表・副代表の選任について 役員の業務委託について	10名 (内事務局4名)
第3回 2018年11月26日（月） 19:00～20:30	事業進捗報告 観光ワークショップについて 第一四半期決算報告 ホームページの改訂について	10名 (内事務局3名)
第4回 2019年1月31日（木） 18:00～18:45	事業報告 第二四半期決算報告	12名 (内事務局5名)
第5回 2019年3月29日（金） 19:00～21:00	事業報告 まちづくり協議会ヒアリング結果について 第三四半期決算報告 2019年度事業計画（案） 2019年度予算（案）	11名(内事務局4名)

（3）まちづくりネット東近江 5周年のつどい

日 程：2018年5月19日（土）17:00～21:00（5周年のつどい）

場 所：八日市商工会議所 4階 大ホール

参加者：44名（交流会37名）

内 容：17:00～17:45 第1部 5周年のつどい式典

18:00～18:45 第2部 ワークショップ

「これからのまちづくりネットを考える」

19:00～21:00 第3部 交流会



↑5周年のつどいの様子



↑交流会の様子

＜所感＞

まちづくりネット東近江のこれまでの話をパワーポイントやビデオで振り返り、これか

らのことをワークショップで考えた。ワークショップでは、参加してくださった方が共に次への方向性を考えてくださるきっかけになった。交流会では、お互いを知ることができるビンゴゲームをすることができたのはよかったです。

準備や企画内容の検討が十分でなかったことが反省点であげられるが、参加された方の「楽しかった」という声が聞けたことがよかったです。

（3）事務局会議の開催

事務局会議は、まちづくりネット東近江の事務局と代表・副代表、東近江市役所まちづくり協働課担当者が事業の内容や業務の進捗状況の情報共有と運営上の問題点等を協議する場である。2018年度は4回事務局会議を開催し、協議を行った。